

エグゼクティブセミナー in 香川 ～ DX時代と地域の未来 ～ 終了報告

http://www.saj.or.jp/NEWS/committee/kouryu/211126_report.html

令和3年11月26日(金)～11月27日(土)の2日間、SAJ会員の経営者・管理者層を中心とした「エグゼクティブセミナー in 香川 ～ DX時代と地域の未来～」が、香川県・国立大学法人 香川大学、高松市、平井卓也議員 高松事務所のご協力をいただき、香川県で開催されました。

SAJからは、会長をはじめ39社・団体/52名が参加し、大変盛況な中、無事終了しました。

●参加企業

<SAJ側36社・団体/47名、企業名五十音順>

I T エージェント株式会社、アカマツ株式会社、アップデータ株式会社、anbx株式会社、イナゾウ株式会社、イノベクス株式会社、株式会社Information Plus-T、株式会社ウチダ人材開発センタ、株式会社エスペシャリィ、株式会社オービックビジネスコンサルタント、株式会社キャリアブリッジ、株式会社グリーンキャット、株式会社クリエイション、株式会社コスモ・コンピューティングシステム、株式会社サイエンスアーツ、さくらインターネット株式会社、株式会社ストライク、税理士齋藤康之事務所、センターフィールド株式会社、創研情報株式会社、株式会社大和コンピューター、日本ナレッジ株式会社、ネクストウェア株式会社、株式会社ネクストスケープ、株式会社バース情報科学研究所、株式会社Harness LLP、ハynesソリューションズ株式会社、株式会社パスカリア、株式会社ピーエスシー、ピー・シー・エー株式会社、株式会社フォーラムエイト、株式会社豆蔵K2TOPホールディングス、ラクラス株式会社、株式会社ラネクシー、株式会社リボルブ・シス、一般社団法人ソフトウェア協会

<香川県側3社・団体/5名、順不同>

国立大学法人 香川大学、香川県高松市、平井卓也議員 高松事務所

●プログラム

令和3年11月26日(金) 行程		
11:30	●高松空港 1F 到着ロビー集合 貸切バスで昼食会場へ移動	
11:50	●高松駅東口集合 貸切バスで昼食会場へ移動	
12:20～13:15	昼食 (場所: 讃岐 牟礼の里 饅頭料理 郷屋敷) 〒761-0122 香川県高松市牟礼町大町1987 Tel: 087-845-9211	
13:15～13:45	<バス移動>	
13:45～17:30	●国立大学法人 香川大学視察 (講演・学生との意見交換会) 会場: 3号棟 (講義棟) 3階3301講義室	
	13:45～14:00	移動 (写真撮影)
	14:00～14:30	香川県、高松市 施策説明 説明: 小澤 孝洋 様 (高松市 総務局参事・デジタル推進部長)
	14:30～14:35	換気
	14:35～15:05	香川大学 創造工学部 取組説明 説明: 最所 圭三 様 (創造工学部副学部長) 香川大学のDX化の取り組み 説明: 八重樫 理人 様 (情報メディアセンター長)
	15:05～15:15	換気・休憩・学生入室
	15:15～15:45	平井衆議院議員ご講演 「デジタル社会の未来」
	15:45～15:50	換気

	15:50～17:30	SAJ 紹介・パネルディスカッション&学生との意見交換会 モデレーター：荻原 紀男 SAJ 会長 パネリスト：平井 卓也 衆議院議員 田中 邦裕 SAJ 筆頭副会長 鈴木 正之 SAJ 副会長 中村 憲司 SAJ 理事 小川 敦 SAJ 理事
17:30～18:00	<バス移動>	
18:00～18:25	ホテル着、チェックイン 18:25までに懇親会会場へお越しください。	
18:30～20:30	●懇親会 四川飯店（スーツアンレストラン陳 高松） 香川県高松市サンポート2-1 マリタイムプラザ高松29階 次第：ご来賓・ご協力団体紹介 開会挨拶：荻原 紀男 SAJ 会長 ご挨拶：平井 卓也 衆議院議員 乾杯ご発声：和田 成史 名誉会長 中締め：水谷 学 SAJ 筆頭副会長 司会進行：村瀬 正典 SAJ 交流委員会委員長	
20:30	<懇親会終了・解散>	

●11月26日(金)
 <讃岐 牟礼の里 饅飩料理 郷屋敷で昼食>



SAJエグゼクティブセミナーの開始は、讃岐 牟礼の里 饅飩料理 郷屋敷にて、ご当地名産の釜揚げうどんなどをいただきました。

<国立大学法人香川大学 創造工学部 訪問>

住所 〒761-0396 香川県高松市林町2217-20

URL https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/

実施会場：3号棟（講義棟）3階3301講義室

香川大学は、第二次世界大戦前に四国唯一の官立高商として数多くの政財界人を輩出した旧制高松高商を前身とし、1949年に設置された大学です。四国4県を統括する国の主要な出先機関と上場企業の支店が集中する高松市の地の利を背景に、国立大学として四国唯一の法学部、経済学部、法科大学院、MBA大学院（ビジネススクール）を持っています。

時代の変化を的確に捉え、社会や人々のニーズにフィットしたイノベーションを創出する人材を育成することを目的に2018年に創設された創造工学部を訪問しました。



香川大学創造工学部にて

香川大学創造工学部到着後、学生との意見交換会の会場となった3301講義室で、初代デジタル大臣や、内閣府特命担当大臣（個人情報保護委員会）、内閣府特命担当大臣（クールジャパン戦略、知的財産戦略、科学技術政策、宇宙政策）などを歴任された平井卓也議員、香川大学学長 筧 善行氏、香川大学創造工学部 教授・学部長 末永 慶寛氏らと共に記念撮影いたしました。その後、香川県及び香川県高松市の取り組み、香川大学創造工学部の取組についての説明を拝聴しました。

続いて、創造工学部の学生が入室し、平井卓也議員による「デジタル社会の未来」と題してご講演いただき、傾聴いたしました。その後、学生たちとの意見交換会を行いました。

○香川県、香川県高松市の取組について

高松市総務局参事・デジタル推進部長 小澤 孝洋様より香川県高松市及び香川県の取り組みと今後の展開についてご紹介いただきました。

●スマートシティたかまつ

・産学民官の連携の下、高松市の地域課題の解決を目的として、官民データの共通プラットフォーム上での適正かつ効果的な利活用の推進（スマートシティ化）を図るため、スマートシティたかまつ推進協議会を設立。

・防災分野、観光分野、福祉分野、交通安全分野などで使用されている機器（位置情報や河川の水位、高齢者の見守り情報など）をインターネットを通じてIoT共通プラットフォームに落とし込み、本番環境や実証環境を装備。市民向けのダッシュボードとしても活用。

・協議会内にワーキンググループを組成し、課題の整理から始め、実証事業を重ねながら、社会実装を目指した取り組みを行う。また、市民参加型のスマートシティを目指し、協議会として、市民向けのシンポジウムや人材育成講座の開催など、普及啓発活動を実施。

●高松市スーパーシティ構想

・AIやビッグデータを活用し、社会のあり方を根本から変えるような都市設計の動きが、国際的には急速に進展していることや、世界各国でも「まるごと未来都市」は、未だ実現していないこと、また、我が国にも、必要な要素技術は、ほぼ揃っているが、実践する場がないことを背景に、令和2年9月に改正国家戦略特区法にて制度化。

・様々なデータを分野横断的に収集・整理し提供する「データ連携基盤」を軸に、地域住民等に様々なサービスを提供し、住民福祉・利便向上を図る都市。

・高松市ではスーパーシティ準備チームを令和2年に発足。チーム相性はDAPPY。
(Digital Alliance which is Potential, Powerful and Youthful/DAPPY = 脱皮)

・「市民全員が未来に夢を持ち、幸せになれるまち、誰もが公平にチャンスがあり、選択できるまち、いつでも、どこでも、誰とでもつながれるまち」を目指す高松市の未来の姿。

・高松版ベース・レジストリ及び移動データをベースに各先端サービス（放課後FACT-ory、らくらく買い物支援、スマートエネルギーマネジメントなど）につなげ、さらに、先端的服务が利活用されたデータをフィードバックすることでデータ連携基盤が進化。

●香川県のDX推進体制

・以下3点をコンセプトにかがわDX Labを設立

①広域自治体（県）、基礎自治体（市町）が連携し、共同でDXを推進

②デジタル都市としての効果的なパブリシティを展開し、共同でDX関連企業を誘致

③官民連携によって、デジタル技術に関する民間企業の知見を最大限活用

・官民連携によって、自治体を含めた社会全体のDXを推進。それぞれが自ら変革し、行政の垣根を越えた生活・経済圏域において、効率的・効果的にサービスを提供する枠組みを構築。

・令和4年4月にかがわDX Labが本格運用。



小澤 孝洋様
(高松市総務局参事・デジタル推進部長)

○香川大学の取組について

国立大学法人香川大学では、はじめに香川大学創造工学部副学部長 最所 圭三様よりご挨拶と創造工学部の人材育成と取組状況を、続いて香川大学 創造工学部 教授、情報メディアセンター長 八重樫 理人様より創造工学部で取り組まれている人材育成やDXの推進状況などについて、ご説明をいただきました。

●創造工学部の人材育成

- ・「次世代型工学系人材：未体験の価値を生み出せる人」の育成を目的に必要な5つの素養を定義している。
①数理的基礎力 ②コミュニケーション能力 ③地域を理解し、地域と協働して価値の創造を行う力 ④デザイン思考能力 ⑤リスクマネジメント能力
- ・特に④デザイン思考能力、⑤リスクマネジメント能力はレジエントリな人材、施設、システムを構築する上で重要であり、関連した学部共通科目も設置。
- ・創造工学部は造形・メディアデザインコース、建築・都市環境コース、防災・危機管理コース、情報システム・セキュリティコース、情報通信コース、機械システムコース、先端マテリアル科学コースの7コース。
- ・それぞれのコースで目指す人材像があり、理念に基づきカリキュラムが組まれている。

●学生中心のDX推進チーム「DXラボ」による香川大学のDX推進とその背景など

- ・香川大学では四国における5国立大学が連携し、大学教育を共同実施する事業（知プラe事業）を推進しており、Microsoft StreamやTeamsなどを活用し、新規システムの導入を最低限に抑えつつオンライン化を実現。
- ・HCI（Hyper Converged Infrastructure）による仮想基盤を導入しており、リソースの増強にも柔軟に対応。
- ・デジタルONE構想…「アフターデジタル」は、顧客がモバイル決済やIoTによって常時オンラインに接続しており、オフラインが存在しない世界を前提とし、「リアル世界がデジタル世界に包含される」という考え方＝OMO（Online-Merge-Offline）→リアル世界がデジタル世界に包含される。
- ・リアルキャンパスを前提とした業務体制からデジタルワンキャンパスを実現にむけた業務体制の構築、また、「UXグロースハック」により生産性を向上させつつ、「UXイノベーション」を目指していく。
- ・DXラボを設置し、デザイン思考に基づいた活動をおこなっており、教職連携で香川大学のDXを推進している。課題の抽出・分析を行い、業務改善アイデアソンも実施。具体的な業務改善に繋げている。また、同時にDXラボによる業務システム内製開発も行っており、2021年9月現在、実施プロジェクトは25件超と活発に活動している。
- ・解決が難しい様々な問題はあるものの、自らの手でDXを推進すべく機運の高まりを促す一定の効果があったと思われる。



最所 圭三様（創造工学部副学部長）



八重樫 理人 様
（情報メディアセンター長）

○平井議員ご講演 「デジタル社会の未来」

続いて、初代デジタル大臣の平井卓也議員より「デジタル社会の未来」と題してご講演いただきました。

まず、香川県が政策の発祥となる「デジタル田園都市国家構想」についてご説明いただきました。元は大平正芳元首相が1970～80年代に追求した国家像です。デジタル技術で都市と地方の格差の解消を目指すことを大きな目的としています。地方からデジタルの実装を進め、新たな変革の波を起こし、地方と都市の差を縮めていくことで、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、構想の具体化



初代デジタル大臣 平井卓也議員

を図るとともに、デジタル実装を通じた地方活性化を推進しています。

また、ユーザー視点に立ってサービスやプロダクトの本質的な課題・ニーズを発見し、ビジネス上の課題を解決するためのデザイン思考や『計画→設計→実装→テスト』といった開発工程を機能単位の小さいサイクルで繰り返し、優先度の高い要件から順に開発を進めていき、開発した各機能の集合体として1つの大きなシステムを形成するアジャイル開発の重要性、そしてデジタル庁発足の背景などについてもご講演いただきました。デジタル庁は国・地方行政のIT化やDX化の推進を目的するだけでなく、現状の日本のデジタル競争力の弱さを打破するためにも設置された背景があります。デジタル庁の存在意義や他国にはない「誰一人取り残さないデジタル化」というビジョンを掲げ、これまでの省庁とは異なるスピード感を持って行われる施策のスクラップ&ビルドなどについてもご紹介いただきました。

また、データセンターとISMAP（政府情報システムのためのセキュリティ評価制度）、電力供給との関係性や、日本においては切り離せない地震など様々な視点を通してご講演いただきました。最後に日本におけるセキュリティの現状と対策、そしてデジタル庁と民間の連携についてご紹介いただきました。



ご講演中

○学生との交流

続いて、パネルディスカッションと学生（約50名）との意見交換会を実施しました。はじめに、モデレータの荻原会長より、学生に対して、SAJの活動目的やどのような団体なのか、また今後の展望についてご紹介いただきました。

また、ソフトウェア業界のこれからやデジタル社会について必要な人材など、デジタル産業と既存産業との比較を交えながら紹介し、パネリストの平井議員、田中筆頭副会長、鈴木副会長、中村理事、小川理事からは、自己紹介が行われ、起業した理由や社長になった経緯についてなどをご紹介いただきました。

DX時代のソフトウェア開発には、アジャイルな仕事の進め方や考え方が必要になります。チーム作りや目標の共有などの具体的な原理についてご説明いただきました。そして今後のソフトウェア産業の未来へのステップとして必要な4つの要素についてご紹介いただきました。

意見交換では、学生の皆さんにはこれからのデジタル社会において求められる人材像等の質問が寄せられ、パネリストからのアドバイスをいただくなど、学生の皆様とSAJ双方にとって大変有益な時間となりました。



パネルディスカッションを熱心に聴講する学生と参加者



モデレータの荻原会長



パネリストの皆様
左から平井議員、田中筆頭副会長、鈴木副会長、
中村理事、小川理事



パネリストに質問をする学生

<懇親会>

会場 四川飯店（スーツアンレストラン陳 高松）

住所 香川県高松市サンポート2-1 マリタイムプラザ高松29階

懇親会は、宿泊先近隣の四川飯店（スーツアンレストラン陳 高松）で、地元関係者の方々と交えて行われました。

はじめに、ご来賓の平井卓也議員、高松市総務局参事・デジタル推進部長 小澤 孝洋様をご紹介し、荻原 紀男SAJ会長による開会挨拶、平井卓也議員によるご挨拶、そして和田名誉会長による乾杯のご発声で宴が始まりました。中締めは、水谷筆頭副会長による3本締めが行われました。懇親会は総勢50名の皆様にて、中華料理を楽しみながら、参加者同志の交流も積極的に行われ、大盛況のうちに終了しました。



村瀬 交流委員会委員長



荻原 紀男 SAJ 会長ご挨拶



平井卓也議員によるご挨拶



和田名誉会長による乾杯ご発声



水谷筆頭副会長による中締め



懇親会の様子

11月27日(土)オプション

翌11月27日は、「県内視察」、「親睦コンペ」の2つのコースに分かれて、オプションが開催されました。

オプション1：県内視察コース

県内視察コースには6社・団体8名が参加し、小豆島に渡り、寒霞渓やオリーブ公園、マルキン醤油記念館などを視察しました。

<参加6社・団体/8名、企業名五十音順>

株式会社Information Plus-T、株式会社フォーラムエイト、株式会社豆蔵K2TOPホールディングス、株式会社キャリアブリッジ、アカマツ株式会社、一般社団法人ソフトウェア協会



世界で最も幅の狭い海峡 土洲海峡



エンジェルロード



オリーブ公園①



オリーブ公園②



創作郷土料理 暦でランチ



マルキン醤油記念館



寒霞渓から臨む瀬戸内海



二十四の瞳・平和の像



フェリーからの風景

オプション2：親睦コンペコース

親睦コンペコースには32社・団体37名が参加し、秋らしい爽やかな晴天の下でのプレーとなり、皆さま日頃の腕前を発揮されていました。

<参加32社・団体/37名、企業名五十音順>

I Tエージェント株式会社、アップデータ株式会社、anbx株式会社、イナゾウ株式会社、イノベックス株式会社、株式会社ウチダ人材開発センタ、株式会社エスペシャリィ、株式会社オービックビジネスコンサルタント、株式会社キャリアブリッジ、株式会社グリーンキャット、株式会社クリエイション、株式会社コスモ・コンピューティングシステム、株式会社サイエンスアーツ、株式会社ストライク、税理士齋藤康之事務所、センターフィールド株式会社、創研情報株式会社、株式会社大和コンピューター、日本ナレッジ株式会社、株式会社ネクストスケープ、株式会社バース情報科学研究所、ハynesソリューションズ株式会社、株式会社パスカリア、株式会社ピーエスシー、ピー・シー・エー株式会社、株式会社フォーラムエイト、株式会社豆蔵K2TOPホールディングス、ラクラス株式会社、株式会社ラネクシー、株式会社リボルブ・シス、一般社団法人ソフトウェア協会



スタート前の集合写真



優勝した星名様、荻原 SAJ 会長

プレー終了後には、交流委員会メンバーの進行により、懇親会とあわせた成績発表と表彰式が行われました。

最後に、「エグゼクティブセミナー in 香川」にご参加いただきました皆様には、多大なるご協力をいただき、お陰様で2日間、全行程を無事に終了できましたことをあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。(事務局：井上・澤口)

以上